



発行所
株式会社 九建日報社
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19
電話代表092(431)5361番
FAX 092(431)7613番
購読料1ヵ月7,800円

北九州支局
TEL 093 (383) 8436
熊本支局
TEL 096 (273) 8708
大分支局
TEL 097 (594) 0518

業務特性に即したASP運用を

建コン協九州支部

熱中症対策検討も要望

福岡県と意見交換会開く

(一社)建設コンサルタント協会九州支部は20日、福岡県との意見交換会(写真)を開き、工事積算補助業務の仕様、就業環境の改善など幅広い課題を協議した。情報共有システム(ASP)の運用について協会は、県の業務特性に即した運用方法を検討するよう促した。熱中症対策では協会が調査・測量業務で対策の検討を要望し、県は「現場管理上、極めて重要なテーマと認識している」と、「他県の動向を踏まえて対応を検討していく」とした。



意見交換会には、建コン協九州支部から種山泰治支部長や森藤敏一副支部長とともに、支部理事や対外活動委員、地元会員らが出席。県側は県土整備部の山口秀次次長や北野靖典土整備企画課長、平井賢二技術調査室長らが対応した。

業務におけるASP(情報共有システム)の運用について、協会が国土交通省モデルを前提とした現行の実施要領は、県土整備部の業務規模・件数に必ずしもなじまず、システム機能を十分に活用できない案件も

県は「現場管理上、極めて重要なテーマと認識している」と、「他県の動向を踏まえて対応を検討していく」とした。熱中症対策では協会が調査・測量業務で対策の検討を要望し、県は「現場管理上、極めて重要なテーマと認識している」と、「他県の動向を踏まえて対応を検討していく」とした。

県は「必要期間が確保され、必要な期間を確保し、適正な工期設定を要望。県は「必要期間が確保され、必要な期間を確保し、適正な工期設定を要望。県は「必要期間が確保され、必要な期間を確保し、適正な工期設定を要望。」と述べた。

若手・女性・シニア技術者の活用・育成を巡って、県は「令和5年度から建設産業魅力発信・女性活躍事業を継続しており、今後はDXへの取り組みなども積極的に発信していきたい」と述べた。表彰制度については「基準設定が難しい面もあり、他県の状況も参考にしながら検討したい」と答えた。

熱中症対策では、協会が調査・測量業務で対策の検討を要望。県は「現場管理上、極めて重要なテーマと認識している」と述べた。

観点から有効な取り組みだ。発注者協議会等を通じて市町村にも働きかけ、市町村の導入率は100%に達している」と成果を報告した。

若手・女性・シニア技術者の活用・育成を巡って、県は「令和5年度から建設産業魅力発信・女性活躍事業を継続しており、今後はDXへの取り組みなども積極的に発信していきたい」と述べた。

名停止に至る可能性もあり、発注者としても重要な課題と捉えている」と強調した。成果品の品質確保・向上に関して、協会が設計・概算予備設計や道路等条件明示チェックシートを活用を促した。これに対し県は「適正な業務遂行に有効なツール」と評価した。

多くの指摘。当面は県の業務特性に即した運用方法を検討することも、将来的には県独自の建設情報共有システムの構築・運用も視野に入れてほしいと求めた。これに対し県は「発注者・受注者の協議により適用除外とする」とも可能を示した。